

環境シンポジウム 参加無料

9月4日 土

場所: 皆生海浜公園

15:00~15:25 ウェルカムスピーチ 平井伸治 (鳥取県知事)

21世紀は「環境の世紀」といわれています。鳥取県では、「人と社会と自然との共生」をテーマに「環境日本一」を目指し、県民、企業及び行政の主体的な参加と協働による環境活動、豊かな自然の保全、自然エネルギーの導入などさまざまな取組を展開しています。「皆生・大山 SEA TO SUMMIT 2010」は、単なるスポーツイベントにとどまらず、自力で海から山へと進む中で、自然を感じ、自然の大切さを考えようという「環境イベント」でもあります。



1984年 東京大学法学部卒業。自治省入省。
選挙部政治資金課課長補佐、税務局企画課理事官を経て
1999年 鳥取県総務部長
2001年 鳥取県副知事
2007年 鳥取県知事選挙初当選、鳥取県知事就任。

15:30~16:30 パネルディスカッション

【パネリスト】 内田正洋 (海洋緑化協会キャプテン)・天野礼子 (アウトドアライター)
小原工 (スポーツ観光マイスター)

【モデレーター】 辰野 勇 (モンベルグループ代表/米子・大山観光大使)



内田正洋

1956年 長崎県大村市生まれ。
1987年から日本のシーカヤック界を牽引してきた。
2009年 海の砂漠化防止を目的とした海洋緑化協会を設立。緑の海、かつての美しい海を取り戻す活動として全国で講演会、シンポジウムを開催している。



天野礼子

1953年 京都市生まれ。同志社大学在学中に釣りを始め、「ノータリクラブ」に入会。
1979年 開高健を文学の師とし、入門。
1988年 師と共に長良川河口堰反対を立ち上げ「日本の川」に警鐘を鳴らす。
2008年7月 養老孟司、C-Wニコラと、「日本に健全な森をつくり直す委員会」を結成した。



小原 工

1967年 米子市出身。
2000年 シドニーオリンピック トライアスロン日本代表。
2010年 観光庁 スポーツ観光マイスター就任。



辰野 勇

1947年 大阪府堺市生まれ。
1969年 アイガー北壁日本人第二登を果した。
1975年 株式会社モンベルを設立
2007年 代表取締役会長就任。

特別招待選手

9月5日 日 大会当日には、元F1ドライバーの片山右京さんが特別招待選手として参加されます!



片山右京

(登山家)
(レーシングドライバー)

1963年 東京都出身。
1992年 ラルースチームからF1デビュー。
恐いもの知らずの走りから「カミカゼウキョウ」と呼ばれた。
入賞回数3回。日本人F1ドライバー最多出場95戦。
1997年 F1を引退し、1998年からはトヨタよりル・マン24時間耐久レースにワークス参戦、レーサーとして活躍の他、ライフワークとして登山や自転車ロードレースにも取り組んでいる。

会場案内・アクセス

◎大会受付、大会スタート地点

【会場】 日野川河口

国道431号線を米子IC方面へ、皆生海浜公園より車で10分
JR米子駅からタクシー20分

◎開会式、環境シンポジウム

【会場】 皆生海浜公園

米子自動車道、米子ICから国道431号線を皆生温泉方面へ約6km
JR米子駅からタクシー15分
路線バスで約20分



◎閉会式(表彰式)、販売(地元特産品、飲料)

【会場】 大山国立公園駐車場(博労座)

米子自動車道、溝口ICから大山方面へ、約10km、米子ICから大山方面へ約13km
JR米子駅からバスで約55分



日本海から大山山頂へ——

SEA TO SUMMIT®

KAIKE・DAISEN 2010



かい け だい せん
皆生・大山 9/4-5 土 日

開催場所: 鳥取県・大山隠岐国立公園(モンベル フレンドタウン大山町)



KAYAK 6km



BIKE 23.5km



HIKE 3.5km

主催/皆生・大山 SEA TO SUMMIT 実行委員会 (事務局/株式会社モンベル)
後援/鳥取県、米子市、大山町、日吉津村

【お問い合わせ】

皆生・大山 SEA TO SUMMIT 実行委員会 事務局 (株式会社モンベル広報部内)
TEL/06(6531)5524 FAX/06(6531)5536 〒550-0013 大阪市西区新町 1-33-20

オフィシャルウェブサイト
<http://www.seatosummit.jp>

オフィシャルウェブサイト <http://www.seatosummit.jp>

※「Sea to Summit / シー トゥー サミット」は株式会社モンベルの登録商標です。



※皆生・大山 SEA TO SUMMIT 2009の様子

皆生・大山 SEA TO SUMMIT® 2010 大会に寄せて



大会長

鳥取県知事 平井 伸治

「皆生・大山SEA TO SUMMIT 2010」が盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、全国各地から御参加いただいた皆様を心から歓迎申し上げます。

カヤックで日本海にこぎ出し、自転車と登山で秀峰・大山の頂上を目指す本大会は、海と山が近い特有な地形や雄大な自然といったこの地域にしかない優れた自然環境を活かすべく、昨年全国で初めて開催されました。

2回目の開催となる今回は、波高の高い場合でもカヤック競技が実施可能なコースとしたことや、潮風を感じられるよう海沿いを走る自転車コースとするなど、昨年とはまた一味違った設定としております。選手の皆様にはコース沿いに点在する素晴らしい自然や景観さらには悠久の歴史・文化遺産などを大いに楽しみながら、スポーツを通じて自然の豊かさを実感し、自然環境の大切さについて理解を深めるといって「SEA TO SUMMIT」の精神を満喫しながら、自分のペースでゴールを目指していただければと期待しています。

ここ鳥取県西部地域は、日本トリアスロン発祥地として今年30回を迎えた「全日本トリアスロン皆生大会」をはじめ数多くのスポーツイベントが開催されるなどスポーツ環境に優れています。県では、これら魅力あるスポーツ資源を観光振興にも活用しようと、現在「スポーツ・ツーリズム」の推進に向けて重点的に取り組んでいるところです。また、この地域は、NHKの朝の連続ドラマ『ゲゲゲの女房』で人気沸騰中の「水木しげるロード」をはじめ、弥生時代の国邑・むきばんだ史跡公園、山岳仏教の聖地・大山寺、海から湯が沸く皆生温泉などの観光地や海の幸・山の幸などおいしい食べ物にも恵まれています。是非この機会に体感していただきたいと思います。

終わりに、本大会の開催に当たり御尽力いただいた大会関係者の皆様に深く感謝を申し上げ、選手の皆様の御健闘と、この大会を通じて多くの人々が出会い交流の輪が広がることを祈念して、御挨拶といたします。



実行委員長

モンベルグループ代表
米子・大山観光大使 辰野 勇

大いなる伯耆の恵み 山里海に 皆生かされる

日本で最初にトリアスロンが開催された「皆生」の海をシーカヤックで体感し、「妻木晩田」の太古から人々を生かした豊かな緑を自転車で駆け抜け、中国地方の最高峰大山のブナ林を登って頂上に至る。

決してスピードを競う競技ではなく、老若男女、誰もがそれぞれの体力に応じた山登りを楽しんできたいと考えています。そして「シートゥー サミット」の行為が及ぼす環境への負荷を最小限にとどめる為に、参加者を100組に限定させていただきました。一人一人がかけがえのない地球を肌で感じ、その大切さを多くの人々に伝えるためのメッセージとなれば幸いです。

海・里・山をむすぶこのイベントがこの先、日本国中にその輪を広げてゆくことを祈念して、2010年大会の挨拶の言葉とさせていただきます。

皆生・大山 SEA TO SUMMIT® 2010

開催要綱



主催 皆生・大山 SEA TO SUMMIT 実行委員会(事務局・株式会社モンベル)

後援 鳥取県、米子市、大山町、日吉津村

協賛 株式会社モンベル、サントリー食品株式会社、ジャパン・ゴアテックス株式会社、ファミリー株式会社、株式会社ロブテックス、大山ハム株式会社、株式会社ナリスアップコスメティックス、株式会社オージーケーカブト、コカ・コーラウエスト株式会社、オリンパスイメージング株式会社、株式会社いいよねっと、海快晴(株式会社サーフレジェンド)、キャメルバック、オーツスタイル(株式会社エクスブルーブ)、Sun Company、Nite Ize、大山Gビール(久米桜麦酒株式会社)、皆生温泉観光株式会社、丸京製菓株式会社、ウイングキャリア、有限会社アキコーポレーション、ごうぎん鳥取文化振興財団、オールスポーツコミュニティ(株式会社フォトクリエイト)、セコム株式会社、とっとりコンベンションビューロー、株式会社中海テレビ放送、サイクルスポーツ(株式会社八重洲出版)

大会期日 2010年 9月4日(土) 9月5日(日)

会場 9月4日 皆生海浜公園(雨天決行)
9月5日 日野川河口(スタート)、大山国立公園駐車場(博労座、雨天決行)
海のステージ[カヤック]日野川河口 ~ 皆生海浜公園 ~ 日野川河川敷 約6km
里のステージ[自転車]日野川河川敷~大山町総合文化スポーツセンター~博労座 約23.5km
山のステージ[ハイク]博労座~大山頂上(弥山) 約3.5km ※天候およびコースの状況により変更になる場合があります。

定員 100組(※エントリー受付は終了しております。)

参加費 シングルの部: ¥15,000(税込) / チームの部: ¥9,000×人数(税込) 環境保全協力金¥500を含む

参加資格 ●健康な方で、参加者全員分のカヤック装備(PFD/ライフジャケットを含む)、自転車装備(ヘルメットを含む)、水分補給のための給水用装備(ハイドレーション・システムなど)を用意できる方
●シングルの部: 高校生以上の方、チームの部: 中学生以上の方
●大会事務局より大会参加承認を受けた方
※病弱、心臓に障害のある方は参加できません。※高校生以下の参加には保護者の同意が必要です。※年齢は大会当日を基準とします。

日程	9月4日(土)	9月5日(日)
11:00~	駐車場入庫開始(日野川河口)	5:30~ カヤック、自転車搬入(日野川河口)
12:00~14:00	大会受付(日野川河口) カヤック、自転車搬入 ※受付終了者に限る	6:30~ 大会スタート ※当初より30分繰り上げいたします。 12:00~ 大山国立公園駐車場(博労座) イベント会場オープン
14:30~	開会式(皆生海浜公園)	16:30~ 閉会式・表彰式
15:00~	環境シンポジウム(皆生海浜公園)	18:00 参加者集合写真撮影 終了
16:30~	大会説明	
17:00~19:00	カヤック、自転車搬入 ※19:00以降の搬入は行っておりません。 19:00以降となる場合は、翌日5日に行ってください。	

制限時間 カヤックスタートより、
5時間以内に博労座(約29.5km地点)
8時間以内に大山頂上(弥山)



コース全体図

9月5日 日

※天候およびコースの状況により変更になる場合があります。

大会コースとチェックポイントのご案内です。応援ポイントなどもご紹介しておりますので、是非、参考にしてください。

応援サポーターの方へ

路上駐車・自動車による自転車との並走は周辺住民の方のご迷惑となりますので遠慮ください。各応援ポイントの最寄りの駐車場 **P** をご利用ください。

公式気象情報モバイルサイト

アクセスはこちらから



株式会社サーフレジェンドのご協力により、イベント専用モバイルサイトがオープンいたします。サイト内では、大会の主要ポイントにおける気象情報について、天気はもちろん、風や波などの情報をわかりやすくご案内します。

また、『皆生・大山 SEA TO SUMMIT 2010』に関する最新情報を、このモバイルサイトより随時発信していきます。是非ご活用ください。



mont-bell

株式会社モンベル <http://www.montbell.jp/>
総合アウトドアメーカー。「Function is beauty」と「Light&Fast」をコンセプトに高機能登山用品とアウトドア用品全般の開発・製造・卸・販売を行っています。



株式会社ナリスアップコスメティクス <http://www.narisup.com/>
大阪市に本社をおく化粧品メーカー。手軽に食べられる「ちよいモグ」「ぐーびたっ」をはじめとした機能性食品を製造・販売しております。



オリンパスイメージング株式会社 <http://olympus-imaging.jp/>
様々なアウトドアシーンで活躍し、アウトドア愛好家から絶大な支持を得ている「OLYMPUS」。防水デジタルカメラ、デジタル一眼レフカメラ他多数取り扱いっております。



海快晴(株式会社サーフレジェンド) <http://pc.umikaisei.jp/>
2008年4月より海専門の気象情報モバイルサイトをスタート。「皆生・大山 SEA TO SUMMIT 2010」専用モバイルサイトを開設いたします。



オーツースタイル(株式会社エクスブルーブ) <http://www.o2style.jp/>
携帯酸素の決定版ともいえる18リットル圧縮酸素ボンベ「O2style」を展開しております。



Nite Ize <http://www.niteize.com/>
アメリカに本社をおく、高輝度LEDライトアクセサリメーカー。携帯電話アクセサリやアウトドア用アイテムなど幅広く展開しています。



有限会社アキコーポレーション <http://www.konaworld.jp/>
「KONA」をはじめ、多数のブランドを取り扱っている自転車メーカーです。全国各地で多数のイベントを展開。自転車業界をリードしています。

セコム株式会社

<http://www.secom.co.jp/>
「信頼される安心を、社会へ。」という思いを具現化すべく、「社会システム産業」の構築をめざしています。



ジャパン・ゴアテックス株式会社 <http://www.jgoretex.co.jp/>
身体を常にドライで快適に保つゴアテックス®プロダクト(製品)は世界中のアウトドア・シーンで、揺るぎない信頼と実績を確立しています。



株式会社オージーケーカブト <http://www.ogkhelmet.com/>
ヘルメット&ギアメーカー。新しい発想力を活かした商品企画、安全性を追求したハイスpekな商品開発に取り組んでいます。



株式会社いいよねっと <http://www.iijo.net/>
携帯用ハンディGPSナビゲーターのトップシェアを誇る米国ガーミン社と連携し、総代理店として日本国内の皆様に向けた製品を開発・販売しております。



キャメルバック <http://www.camelbak.jp/>
20年近くにわたり、ハイドレーションシステム技術の最先端を担ってきたブランド。ハイドレーションシステムの世界NO.1ブランドとして広く知られています。



Sun Company <http://www.suncompany.net/>
アウトドアの中で役立つ斬新なアイデアを持った小物を、1971年から次々と世に送り出しているユニークなアクセサリメーカー。



ウイングキャリア <http://www.wingcarry.com/>
「ウイングキャリア」とは動力を使ってカヤックを自動車の屋根に積み込む、最新型のキャリアです。会場では展示品をご用意しております。



オールスポーツコミュニティ(株式会社フォトクリエイト) <http://allsports.jp/event/00051725.html>
「全てのスポーツイベント参加者に感動を写真というカタチにしてお届けすること」を目的とした、インターネットスポーツメディアです。

SUNTORY

サントリー食品株式会社 <http://www.suntory.co.jp/>
奥大山一帯の広大なブナ林によって蓄えられた「サントリー天然水(奥大山)」をエイドステーションの給水用に提供しています。



株式会社ロブテックス <http://www.lobtex.co.jp/>
大山町に工場をもつ、工具メーカー。作業工具・ファスニングツール・工業用ファスナー電設工具・油圧工具・切削工具の製造販売を行っています。「LOBSTER(エビ印)」が目印です。

大山Gビール

大山Gビール(久米桜麦酒株式会社) <http://g-beer.jp/>
鳥取県大山の麓で湧き出る伏流水を使って仕込んだ地ビール「大山Gビール」。大会の後は地ビールで喉の渇きを潤してください。



コカ・コーラウエスト株式会社 <http://www.ccwest.co.jp/>
「飲料ビジネスの未来を創造します」が我々のメッセージ。地域に根ざし、地域の皆さまに信頼され、ご支持をいただける企業を目指してまいります。大山が育んだ名水「いろは・す」をご賞味ください。



とっとりコンベンションビューロー <http://www.t-cb.jp/>
コンベンションの誘致、支援等を行い、産業の振興、地域の活性化、国際相互理解の増進及び文化の向上に寄与することを目的に活動しています。



中海テレビ放送
株式会社中海テレビ <http://www.chukai.ne.jp/>
中海テレビ放送は、市民や地域企業・行政・NPO法人と、豊かな地域づくりを目指すケーブルテレビ会社です。



ファミリー株式会社 <http://www.family-chair.co.jp/>
日本が生んだ文化的健康商品「マッサージチェア」を世界の家庭へ届けたい……大山町に工場をもつマッサージチェア専門メーカーです。



大山ハム株式会社 <http://www.daisenham.com/>
2010年国際ハム・ソーセージ品質競技会6年連続金賞受賞。自然の恵みをいっぱいに受けたハムやソーセージを食卓にお届けします。



皆生温泉観光株式会社 <http://www.ou-kaike.co.jp/land/kaike.html>
「皆生海浜公園」近くにある温泉施設。さまざまなタイプの温泉コーナーが参加者の疲れを癒してくれます。



丸京製菓株式会社 <http://www.marukyo-seika.co.jp/>
「どらやき世界NO.1」。名水湧く秀峰大山を仰ぎ、コハクチョウの飛来する中海を望む。自然豊かなこの地から全国へ四季折々のおいしい和菓子をお届けします。

ごうぎん鳥取文化振興財団

<http://www.gogin.co.jp/>
山陰合同銀行創立50周年記念事業として設立。地域社会の発展に貢献することを目的とした支援・協賛活動を行っています。



サイクルスポーツ(株式会社八重洲出版) <http://www.cyclesports.jp/>
月刊「サイクルスポーツ」は、おかげさまで40周年を迎えることが出来ました。これからもご声援よろしくお願い致します。

実行委員会

鳥取県、鳥取県西部総合事務所、米子市、米子市観光協会、大山町、大山町観光協会、日吉津村、大山・中海・隠岐エコツーリズム協議会、皆生温泉旅館組合、皆生レクリエーションカルチャー協会、皆生ライフセービングクラブ、NPO法人大山中海観光推進機構、大山の頂上を保護する会、鳥取県カルチャー協会、鳥取県サイクリング協会、鳥取県山岳協会、鳥取県トライアスロン協会、株式会社モンベル